

都市再生整備計画(精算報告)

久米中央地区

山口県 周南市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

・精算報告として、各交付対象事業の確定額等を入力すること。(最終変更版ではない。)

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山口県	市町村名	周南市	地区名	久米中央地区	面積	27.1 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

主要幹線道路の整備に併せて、安全で快適な居住空間の形成を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、周南市の中心部から東へ約4kmに位置し、北方には国道2号、山陽自動車道徳山東インター、南方には県道下松新南陽線や鼓海奈切企業団地があり、その位置的利便性は高く立地条件に恵まれています。
- ・しかし、幹線道路である市道久米線は幅員極小で離合も困難な状況であり、歩行者特に通学児童や高齢者にとって非常に危険な状態です。
- ・また、無秩序な市街化の進行により公共施設の整備が成されておらず、緊急車両の進入困難箇所も多く居住環境は決して優れているとは言えません。
- ・その中で山陽指導車道徳山東インターと鼓海奈切企業団地を結ぶ都市計画道路櫛浜久米線が計画され、この開通により無秩序な市街化が加速し、更なる居住空間の低下が予測されます。
- ・そこで、都市計画道路を中心に面的整備を実施し良好な市街地形成を図るべく、平成9年度より土地区画整理事業に着手し、さらに平成13年度より、まちづくり総合支援事業として魅力ある都市空間の形成を図ってきました。

課題

- ・位置的利便性が高く立地条件に恵まれているが、公共施設が未整備のまま無秩序な市街化が進行し、下水道の未整備や公園用地がないことにより、定住人口が減少し高齢化が進んでいる。
- ・近年、交通量が増加するなか、地区内には、幅員4～6m程度の生活道しかなく一般車両や大型車両が通行するなか、児童が通学路として利用しており、早急な道路網の整備改善を求められています。
- ・無秩序な市街化の進行により、公共施設の整備がなされておらず、通行車両の離合も困難な状況のなか、緊急車両の進入困難箇所も多く居住環境は優れていない状態です。

将来ビジョン(中長期)

地域の特性を活かし、地域の核となる新たな拠点の形成

- ・周南市まちづくり総合計画においては、地域の特性を活かした・地域が主役の快適な市街地の創造の推進を図るとともに、地域の安全性・快適性の向上のため、区画道路や公園の整備による避難機能の確保と公共空間の増加による良好な生活環境を形成することが位置づけられています。
- ・徳山市都市計画マスタープランにおいては、久米中央土地区画整理事業区域を中心に、地域の核となる新たな地域拠点の形成を行うということが位置づけられています。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
地区内定住人口	人	当地区内における居住人口	良好で快適な居住空間創出により地区内の居住人口の減少を抑制する。	1,051	H16	H22
通学児童と保護者満足・安心度	%	当地区内を通学している地区内外児童と保護者のアンケート調査による満足・安心度	通学児童と保護者の安全性・快適性の向上を図り3倍とする。	10	H16	H22
地区内狭隘道路率	%	地区内の狭隘道路率の減少を図る	道路網の整備により地区内の緊急車両のアクセスの確保を図る。	39	H16	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>定住人口の増加 定住環境の基盤整備を推進し、さらに高質なコミュニティ道路、公園を一体的に整備することにより魅力あるまちづくりを目指します。また地区の位置的利便性と相まって土地の高度利用が進み、定住人口の増加を図ります。</p>	<p>土地区画整理事業(基幹事業) 土地区画整理事業(関連事業、市) 公園(関連事業/街区公園、市) 高質空間形成施設(関連事業/植栽、照明施設等、市) 下水道事業(関連事業/公共下水道事業、市)</p>
<p>快適性の向上 生活の快適性、浸水対策・衛生面の向上を図るため、上水道、ガス等の供給施設と下水道、排水等の施設を整備します。 区画道路、公園等の面的・一体的な整備により、公共空間が増加し、通風、採光、及び地区住民のコミュニティ空間を確保し良好な生活環境の形成を推進します。</p>	<p>土地区画整理事業(基幹事業) 土地区画整理事業(関連事業、市) 公園(関連事業/街区公園、市) 下水道事業(関連事業/公共下水道事業、市) 河川改修事業(関連事業、市)</p>
<p>安全性の向上 区画道路の整備により、緊急車両のアクセスの確保を図り、また、道路、公園等のオープンスペースの増加と老朽建物の更新による延焼遮断効果と避難機能の向上を図り、災害に強い安全なまちづくりを推進します。 幹線道路等の歩道の設置、また高質なコミュニティ道路の整備により、歩者分離の体系を確保し、交通に係わる安全性の向上とやすらぎを与え人にやさしい環境の創出を図ります。</p>	<p>土地区画整理事業(基幹事業) 土地区画整理事業(関連事業、市) 公園(関連事業/街区公園、市) 高質空間形成施設(関連事業/植栽、照明施設等、市)</p>
<p>その他</p>	
<p>合併後、周南市としてのまちづくりへの取組み</p> <p>平成15年4月21日、徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町の2市2町が合併し、人口規模においては山口県第3位、市域の広さでは県第1位の面積を有する新市「周南市」が全国的な市町村合併の流れの中で、県内のトップを切って誕生しました。こうしたなか、市民一人ひとりが「生まれてよかった」「住んでよかった」そして「合併してよかった」と真に実感できる周南市を創造するため、ますます複雑化・多様化する市民ニーズに対応しながら、生活者である市民の視点にたったまちづくりを周南市の基本理念として推進していくため、市内7会場において、市長・助役・教育長をはじめとし、市民参加型のまちづくり懇談会を開催、各地域の市民の皆さんから、ご意見を頂きました。その中でも当地区は、道路が狭い等の問題解決のため、区画整理で生活道路を一刻も早く整備してほしいとの意見が多くあり、このため、区画整理事業とまちづくり交付金による総合化による、早期事業の完成を目指します。</p>	

